

試験時間

60分

### 【注意事項】

1. 試験時間は60分である。
2. 解答は解答用紙に記入すること。
3. 問題用紙および解答用紙に受験番号および氏名を記入すること。
4. 終了後、問題用紙は解答用紙とともに机上に置いておくこと。  
持ち帰ってはけない。

【問題】次の文章は、英語教育に関して交わされた聞き手と社会言語学者の最近の対話の一部です。この文章を読んで、今後、日本では英語教育を強化する必要があるか否かについてあなたの意見を表明しなさい。その上で、その意見をもった理由を説明しなさい。意見、理由をあわせて800字以内とします。

・英語は国際共通語です。子供たちの将来を考えると、英語習得が必須では。

「まさに今の質問にあるように、英語に対するイメージは明るくプラスですね。世界の人々とコミュニケーションできる、かっこいい、と。多くの日本人が英語にあこがれてきた。私はこれを『英語信仰』『英語中心主義』と呼んでいます。明治以来、日本は一貫して西洋語中心、英語中心でやってきました。でも、英語には恐ろしい権力の面もあるのです」

・恐ろしい、権力の面とは、どういうことですか。

「英語は国際共通語として、他の言語に対して突出して強い力を持つようになりました。他言語を圧迫し、国際的な立場で使わない、使えなくなりました。さらに重要なことは、英語の優劣によって人々のコミュニケーション能力に差がついてしまうことです」

・でも言語はコミュニケーションの道具、手段では。

「いえいえ、英語はもはや道具や手段といった中立的な存在ではありません。出来る出来ないで格差を生み出し、差別と不平等を生じさせています。英語の母国話者が、次いで英語圏に留学したり長く住んだりした人たちが、英語が上手だと言っただけで、そうでない人たちに対して会社でも国際的な場でも有利になっています」

(中略)

・ビジネスの社会では、ユニクロを展開するファーストリテイリングや楽天が、英語を社内公用語にすると報じられて話題になりました。今後、そういう企業が増えるのではありませんか。

「ファーストリテイリングと楽天の社長さんに手紙を書いて再考するようお願いしました。問題点は三つあります。一つはこうした大企業が英語を社内公用語にすることは社会への影響が大きい。世間の人は『やっぱり英語は大事だ』と受け取り、英語支配の構造が進んでしまう。第二に英語圏出身の人が社内でのコミュニケーションで格段に有利になって、日本が『英語格差社会』になってしまいます。第三に、雇用で外国人を優先するとやっているようですが、そんな企業が増えたら、英語の苦手な日本人の学生は就職できなくなる。しかも自分の国で自分の言語が使えなくなる。日本人と日本語をもっと大事にすべきです」

(中略)

・うーん。では、中学高校で、どのように英語を教えるべきですか。

「選択科目でいい。学びたい生徒だけが学べばいいんです」

「現場では英語が実質的に必修です。必修とは強制。しかし、外国語を強制する必要があるかですか。それより、まず日本語です。子供たちだけでなく大人の日本語力も落ちている。だからこそ、小学校から大学まで国語を必修にして授業時間も増やし、きちんとした日本語が使えるよう教育すべきです。(以下略)」